

# コミセンの集い・コミセンフォーラム

令和元年8月31日(土) 野添コミセン多目的ホール

## コミセンの集い 13:00~15:00 多目的ホール

### ミニ人権講座・映画『星めぐりの町』

猛暑の行方がどうなるのか心配な夏休み最後の日、180名ほどの方がコミセンの集いに参加されました。いきいき活動推進委員会の方に受付をしてもらい、会場となった多目的ホールは満席でしたので一部の方にはロビーで映画鑑賞をしていただきました。

まず最初に人権啓発委員の加田平さんより、ミニ人権講座として10分ほど昨今の人権に関する問題について提起していただきました。身近な問題として、自動車や電車など、またいつも携帯して見つけているマークについて勉強しました。耳マーク・マタニティマーク・身体障がい者マーク・ヘルプマーク・聴覚障がい者マークなど、様々なマークがあり、その意味について学習しました。

続いて映画『星めぐりの町』の鑑賞をしました。この映画は東北大震災でひとりぼっちになり、心を閉ざしてしまった少年を預かることになった豆腐屋の主人の心温まるドラマである。主演は小林稔侍さんで独特の人情味溢れる演技でした。地域の中で豆腐屋として朝早くから地道に淡々と日々の営む中で、しっかりと地域とつながっている豆腐屋の主人の生き方と遠縁の親戚を頼ってきた心を閉ざした少年とのやりとりの中で少年が少しずつ心を開いていく様子が伝わってきました。

宮沢賢治の「雨ニモマケズ・・・」の一説も生きる意味を私たちに再び問うエッセンスとして心に残りました。



## コミセンフォーラム 15:15~16:15 多目的ホール

映画のあと、お茶を飲みながらコミセンフォーラムを行いました。53名の参加がありました。

最初に映画の感想を話し合っていたのですが、「亡くなってから人の良さが分かる。」「思いやりの心が大事である。時には我慢も必要。」「自分も経験があるので気持ちが分かりつらかった。」「当たり前のことをきちんとして生きることの大切さを学んだ。」などの意見が出ました。

語ろう地域のことでは、各自治会で「毎年、自治会長の選出が大変だ。」「会長が高齢者か若者に偏ってしまう。働き盛りの年齢では忙しく会長ができない。」「民生児童委員もなかなか決まらない。」など、自治会運営上の問題点が浮かび上がってきました。

いろんな機会地域の人々が生活しやすくなるようなコミュニケーションを図る事業は大切だと思いました。ただ、それに賛同してどれだけの人が集まるかはこれも地域の人々の思いや関心の問題だと思いました。

